

ストップ ザ 温暖化 いまりアクションプログラム
令和7年度の取組実績を公表します

●問合せ先 環境政策課 脱炭素社会推進室(☎2144)

①二酸化炭素(CO₂)排出量 エネルギー別

単位:[t-CO₂]

項目	2013年度	2025年度	増減率
電気	8,847.4	5,728.6	-35.3%
都市ガス	166.9	121.3	-27.3%
LPガス	174.5	185.8	6.5%
灯油	468.8	363.9	-22.4%
A重油	128.4	160.4	25.0%
公用車(ガソリン・軽油)	176.5	144.5	-18.1%
合計	9,962	6,704	-32.7%

②二酸化炭素以外(メタン・一酸化二窒素・HFC-134a)排出量 エネルギー別

単位:[t-CO₂]

項目	2013年度	2025年度	増減率
公用車走行	6.4	4.9	-23.3%
公用車エアコン	1.6	1.7	2.9%
下水処理	240.6	240.9	0.2%
合計	249	247	-0.4%

温室効果ガス排出量(①+②)

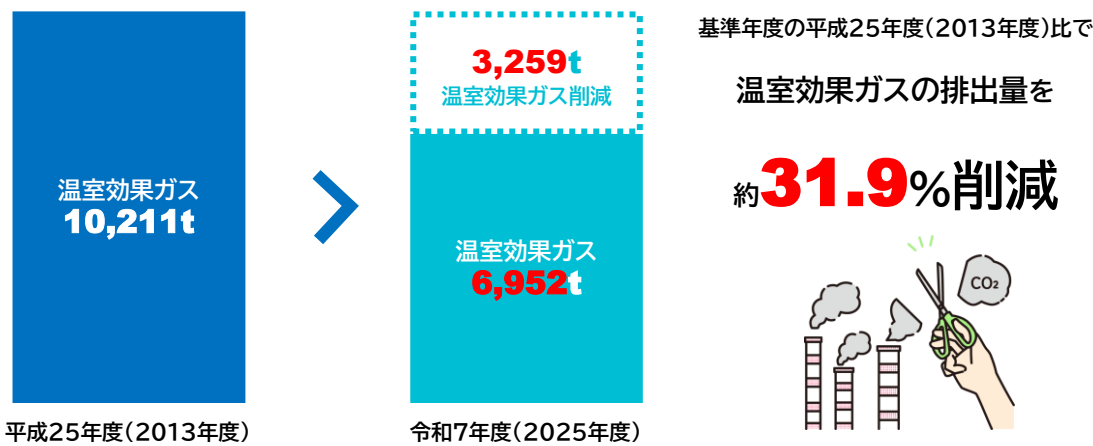
単位:[t-CO₂]

項目	2013年度	2025年度	増減率
二酸化炭素	9,962	6,704	-32.7%
二酸化炭素以外	249	247	-0.4%
合計	10,211	6,952	-31.9%

【表の解説】

- ・数値は『地球温暖化対策の推進に関する法律』に基づき算定しています。
- ・表内の数値は、小数点以下を四捨五入しているため、合わない場合があります。

市は、『地球温暖化対策の推進に関する法律』に基づき『ストップ ザ 温暖化 いまりアクションプログラム(伊万里市地球温暖化対策実行計画)』を策定し、市役所の各施設や各事業で発生する温室効果ガスを基準年度の平成25年度(2013年度)から令和12年度(2030年度)までに50%削減することを目標に掲げ、取組みを行っています。



まとめ

令和7年度は、平成25年度と比べ、温室効果ガス排出量を 約31.9%、約3,259t削減することができました。これは、約1,300世帯が年間に排出する二酸化炭素の量に相当します。(二酸化炭素の1世帯あたりの年間排出量=2.47t/出典:「令和5年度 家庭部門のCO₂排出実態統計調査(環境省)」)

基準年度の平成25年度と比較すると、着実に温室効果ガスの排出量は削減できています。今後も、脱炭素社会に向けて、『ストップ ザ 温暖化 いまりアクションプログラム』に基づき、省エネや再生可能エネルギーの導入などの取組を推進し、市役所全体で温室効果ガスの排出量削減に努めていきます。